



# SALVATIONIST とぎのこえ

2022年標語「わたしたちを救われる神」(詩編40編2～4節)



二〇二二年五月十五日発行

明治二十八年創刊

福音版・毎月一日発行

広報版・奇数月十五日発行(除く七月)

初夏号

広報版

2022

May-June

No.2835

2022年 救世軍標語

# 「わたしたちを救われる神」

詩編40編2～4節



「あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。」(使徒言行録1章8節)



**ペンテコステは  
6月5日です**



@SAArmyJP



SAArmy\_JP



救世軍  
The Salvation Army

きりとり

- 『とぎのこえ』購読を申し込みます。  
(1年分1140円。税込、送料別)
- キリスト教についてもっと知りたいです。

ご氏名 \_\_\_\_\_

ご住所 \_\_\_\_\_

表紙の写真:3月29日、プリティッシュ・スクール・イン東京でのドネーションイベントで(記事15ページ)

とぎのこえ SALVATIONIST

初夏号 広報版  
2022 May-June  
NO.2835

## もくじ

- メッセージ  
聖霊の助け  
大尉 中島 美和 …… 3
- 〔連載〕聖潔の流れに立つ 第21回  
ブレングルの生涯と聖潔  
中将 吉田 真 …… 4、5
- 証言  
軍国特務曹長 成 演宇 …… 5
- 緊急支援リポート  
ウクライナのための祈り ウクライナ  
と周辺諸国の救世軍の支援活動  
…………… 6、7
- 各地のニュース !!  
士官学校 …… 7
- 集会報告  
ユースセミナー 2022 …… 8  
SA パームレジデンス竣工式 …… 9
- 各地のニュース !! / YP(青少年部)・ファミリーニュース  
清瀬病院、社会福祉部・医療部・本営  
…………… 9  
高知小隊、京都小隊、仙台小隊 …… 10
- 人身取引対策室 …… 11
- 〔連載〕各地の小隊から 第3回  
浜松小隊 …… 11
- 社会鍋による支援  
天満小隊、呉小隊・呉保育所、京都小隊  
…………… 12
- 〈連載・第15回〉  
神の呼びかけ～神の民となるために～  
(5) キリストの臨在を祝うことへの  
呼びかけ  
(6) 兵士となることへの呼びかけ …… 13
- 救世軍見解表明  
社会道德に対する救世軍の立場  
第7回「平和の構築」(1) …… 14
- 救世軍公報/召天記事  
ファンドレイジング …… 15
- 集会案内 / New Hope 麻布 / 軍国特務  
曹長来日 …… 16

# 聖霊の助け

大尉 中島 美和



のでは、と思うのです。

\*「The Chosen (ザ・チョズン)」というイエス様の生涯についてのドラマを観ています。そこに描かれる弟子たちの性格が印象的で、ペトロは何でもすぐに仕切りたがる。ヨハネは自分がイエス様に一番愛されているという自負心のかたまり。マタイは取税人であった過去に加え神経質な性格も手伝って、なかなか周りとなじめない。そんな十二人の弟子たちがお互いに相容れず、言い争う場面がたびたび出てきます。それぞれの自我の強さが鼻につくのですが、自分の姿を見るような時もあるとドキッとします。出自も性格も、何もかもが全く違う十二人が、なぜ共に行動することを選択したのか。それはただただ、イエス様との衝撃的な出会い、そして「私に従いなさい」という率直な招きに、この方について行きたい、ついて行かなければ、という、説明しようのないインパクトを受けたからです。

とはいえ、イエス様に従う歩みの中でも、彼らは互いに衝突の連続でした。イエス様の力強い奇跡、憐れみ深さを日々目にしている、誰が一番偉いのか、誰が一番に報いを受けるのかと、エゴとプライドをぶつけ合う弟子たち。そして、そういう弟子の姿に悲しみながら、忍耐しているイエス様の姿があります。

もしこの状態で聖書の史実が終わっていたらどうだったでしょうか。イエス様の十字架の死、三日目の復活、そして天に帰られる、というところで終わっていたら。求心力の要であったイエス様が不在になった時点で、弟子たちは、ばらばらになっていた

しかしイエス様は前もって、助け主となる聖霊を送ると約束されていました。それはペンテコステの日に実現し、聖霊を受けた弟子たちの口から語られたのは、もう自分たちの主張ではなく、イエス・キリストの証しでした。それまで迫害を恐れていた弟子たちは、大胆さを与えられ、「ほかのだれによっても、救いは得られません。わたしたちが救われるべき名は、天下にこの名のほか、人間には与えられていないのです」(使徒4・12)と、反対者たちはじめ多くの人々の前で堂々と福音を宣べ伝える者とされました。

私たちも弟子たちのように、イエス様に出会い、その後について行こうと決心したのに、自分の弱さに落ち込んだり、あるいは人の欠け目につまずいたり、神様の御心がはるか遠くに感じることもあるのではないのでしょうか。神様のご計画は愛と喜びと平和に満ちているはずなのに、現状はそれと程遠く感じる。クリスチャンであること、教会・小隊、信仰とはいったい何なのだろうか。

私たちは自分の決心や信念だけでは、イエス様の姿に倣うことはできません。自分の努力でそれをしようとする、それができない自分に罪悪感を覚えたり、あるいは足並みを揃えてくれない周りの人に批判的な思いを抱くようになりがちです。そこにはイエス様が望まれる恵み、自由、命の豊かさはありません。そんな私たちを助けるために、聖霊様が来

てくださいました。この方は私たちの内に宿って、イエス様について証しをなさる方(ヨハネ15・26)であり、私たちを導いて真理を悟らせてくださる方(同16・13)であり、私たちの生活に愛・喜び・平和・寛容・親切・善意・誠実・柔和・節制という良い実を結ばせてくださる方(ガラテヤ5・22-23)です。

「ではどうしたら聖霊は宿ってくださるのか」と時々聞かれます。聖霊は、自分の罪を悔い改め、イエス・キリストを自分の主として、救い主として信じる人には誰にでも与えられます(使徒2・38-39)。その瞬間から、先述のように、イエス様の証しをするように、また、何が神様の真理なのかを示し、聖霊の実を結ぶように私たちを促してくれます。大切なのは、その聖霊の促しに抗わないということです。聖霊は鳩をモチーフとして表されるように、平和で穏やかな性質をもっておられます。ですので、もし聖霊の促しを拒絶するならば、それ以上強制されません。つまり、私たちが聖霊の導きに従うならば、うほど、聖霊の感化が私たちの内に現れることになり、また拒絶するならば、私たちは自我の主張を続けることになるのです。

ウイルスや紛争、災害など、さまざまなことが世界を揺り動かしています。このような時、決して変わることはない、確かな命の源であるイエス・キリストに依り頼むことができるよう、どうか聖霊のご臨在を求め、その促しに従うペンテコステの時となりますように。

(霊的生活成長部長)

\* 「The Chosen」は2017年にインターネットで配信が開始された聖書ドラマ。シーズン8まで制作予定で、現在はシーズン2が公開中。インターネットやアプリで無料視聴できる。説明は英語だが、日本語字幕に設定可。クラウドファンディングで制作されたドラマとして史上最高額を達成した。シーズン2の「山上の垂訓」のシーンは救世軍米国南部軍国テキサス連隊のホブリツェル・キャンプ場で撮影された。「The Chosen - Angel Studios」で検索。

## 連載 聖潔の流れに立つ 第二十一回

### ブレンゲルの生涯と聖潔

中将 吉田 眞



(承前)\* (聖潔とは) すべての思いをキリストのとりこにされたいという思いを引き起こす愛のバプテスマです。(コリント二10・5) また、それはすべての恐れを追いやるものです。(ヨハネ一4・18) また、炎が麻くずを燃やすように、疑いと不信仰とを、燃やし尽くすものなのです。さらにそれは、人を『柔和で謙遜』にするものです。(マタイ11・29) 人を、汚れたもの、虚偽、嘘、へつらい、すべての悪を憎むものとするのです。……『聖潔の葉』(はじめに)より)

一時の感情ではなく、実際に人を変革する結果を生み出す、実存的なものとして捉えていることがわかる。そして彼は「神はこのすべてをわたしの内になしてくださった。聖なる御名をほめ称える！」と書いている。

聖潔を受けた時に、彼の内に起こったことのひとつとして、説教が変わったことがある。ある人が、彼の説教を評して、先に、「以前は、雄弁な説教であったが、今は、聞いた人をして、神の呼びかけに応えるように招く説教となった」と言った、と書いたが、彼自身「聖霊はわたしの口に伴い、イエスとその大いなる救いについて説教し、人々の魂に警告を与え、慰め、救いに導くことができた」と述懐している。

さて以上のようなことを、ブラムエル・ブースは、『聖潔の葉』の続編である『聖潔をめざして』(『Heath talks on Holiness』)の「まえがき」に次のように簡潔に書いている。

\*「この本は、同じ著者(ブレンゲル)によって、同じ主題について書かれた『聖潔の葉』の続編として書かれたものである。この本の目的は、厳密に实际的な聖潔についてである。前編はこの主題に関する書物として、すでに、長く愛される地位を勝ち取っているが、続編である今回のものも、この本の対象である普通の人たちにとって、疑いもなく同様に有用であると信じる。すなわち、主の前にあってその生活と心とを聖く保ちたいと願っている巡礼者たち、キリストの兵士たちにとって有用である。すでに述べたようにこの本の目的は实际的な聖潔についてであるが、もし読者が、この本を読んで、救いの理論についてよく理解したとか、神の御心をよりよく理解したとか言うことだけに終わるとするならば、豊かな賜物を与えられている救世軍士官であるこの本の著者は、間違いなく不満足であろう。彼は、それ以上の何かを目指していた。つまり、読者たちが、救いを今喜び、そしてこれからもいつまでも、いつもその救いを喜ぶ助けとなるように願っているのである。この本に書かれている、素晴らしい経験は、地上における幸福と有用性の秘訣であり、かつ、天国における生活の最善の準備である。そして、その経験は、読者の経験でもある。」

ブレンゲルの聖潔に対する考え方の中に、聖潔は、ある特別な人だけに与えられる恵みではなく、誰でもが享受する恵みであるというものがある。さらに進んで、聖められることは、すべての人が経験しなければならぬ神の命令でもあると言う。彼の著書『聖潔の道』の中で、ブレンゲルはなぜ、聖められなければならないかについて書いている。①神がわたしたちが聖くなることを望んでいるから。②イエスが死んだのは、

わたしたちが聖くなるためであったから。③わたしたちが有用なものとなるために必要だから。

#### まとめとして

紙面の関係で、彼の生涯について大半の紙面を用い、ブレンゲルの書籍から見ると「ブレンゲルの聖潔」について十分な記述ができなかったが、まとめとして、\*「心を神へーサムエル・ローガン・ブレンゲル」を編集したピーター・ファージング少佐による、編集コメントを紹介したい。

\*「ブレンゲルの声は十分に聞くに値する。他の偉大と言われるクリスチャンたちと同様、ブレンゲルも、その時代の中で、考え方が形成されたということは言える。当時主流であった神学で、現代では、それほど用いられていない神学の影響を受けていないとは言えない。しかし、そのような部分を省いたとしても、ブレンゲルの著作には、相当量の聖書的、かつ实际的な教えが含まれている。ブレンゲルの洞察は、次の三つの点に要約できるだろう。

- 一、神は、クリスチャンたちが、その全人格、思いと心と意志のすべてを、神に差し出すことを求めておられる。
- 二、神は、わたしたちが罪によって傷つくことから聖くされることを求めておられる。神はわたしたちが、キリスト教の理解の浅さの中に留まることを期待してはおられない。
- 三、神はわたしたちの生活が神の霊、愛の霊によって満たされていることを望まれる。」

さらに付け加えるならば、\*『聖められた聖徒ーサムエル・ローガン・ブレンゲルの生涯と教え』の著者、デビッド・ライトマイヤー(中将)は、

\*「救世軍の聖潔の教理は、最初の三十年間、ブース一族とレイルトンによって形成されていたが、その後は、ブレンゲルが救世軍の『公式な』聖潔の教理の

(次ページに続く)

証言

軍国特務曹長

成演宇

ハレルヤ!

「神の恵みによって今日のわたしがあるのです」(コリント15・10)



と教会に行く決心をし、その友人のお母さんが下士官として在籍していた救世軍マンス小队に行きました。

この度、軍国特務曹長として受け入れられた成演宇です。私のような罪人を救ってくださった父なる神様をほめ称えます。私の願いと祈りとを聞き、導いてくださる全能の神様について証言をいたします。

小隊の扉を開けた時の温かい安らぎに心をうたれたことを今も覚えています。信仰生活の初めの頃は礼拝はもちろん、小隊で過ごす時間があまりにも良くて、献身のことも考えましたが、残念ながら年齢制限で士官学校に入ることはできませんでした。

私が初めて神様の名を口にしたのは、まだ信仰をもっていなかった一九九七年、娘が白血病にかかった時でした。自分の、いや人間の力ではどうにもできないことがあるのだと実感してからです。自分でできることは神様にすがりついて泣くことだけでした。

その当時、私は娘と二人暮らしをしていましたが、二〇一二年、娘が伝道のために中国へ行くことになり、私は、小隊長と相談して小隊で暮らす許可を得ることができました。娘が帰って来るまでの二年近くは、私の信仰生活にとって本当に充実した有意義な時間でした。士官にはなれませんでした。士官にはなれませんでした。士官にはなれませんでした。

もし娘を助けてくださるなら神様のために一生懸命働くという言葉が自ずから出ました。今考えてみると献身の誓願だったと思います。娘は癒されて元気になりましたが、私は献身の約束も、感謝をすることをも忘れませんでした。

二〇一五年、神様の導きによって私は日本の救世軍へと繋がれました。東久留米市に住んでいた母の世話をしながら、共に清瀬小隊で信仰生活を守るようになったのです。母は八十四歳で初めて神様に出会いました。母はイエス・キリストを受け入れ、小隊の皆さんと礼拝を献げ、会食や交わりを楽しんでいました。日曜日には母を連れて清瀬小隊に通いましたが、私はビザの関係で、三カ月毎に日本と韓国を往復する生活を四年間続けました。清瀬小隊では、聖別会のほかに、有志の皆さんと聖書の学びと祈りの時をもち、またクリスマス集会やバザーのための奉仕をすることができました。これらは日本での働きの土台となる、新しい弟子訓練でした。

それから七年も過ぎた二〇〇五年、友人との関わりを通して不思議に神様との約束を思い出しました。その時にやっ

私に清瀬小隊で信仰生活を守るようになったのです。母は八十四歳で初めて神様に出会いました。母はイエス・キリストを受け入れ、小隊の皆さんと礼拝を献げ、会食や交わりを楽しんでいました。日曜日には母を連れて清瀬小隊に通いましたが、私はビザの関係で、三カ月毎に日本と韓国を往復する生活を四年間続けました。清瀬小隊では、聖別会のほかに、有志の皆さんと聖書の学びと祈りの時をもち、またクリスマス集会やバザーのための奉仕をすることができました。これらは日本での働きの土台となる、新しい弟子訓練でした。

二〇一五年、神様の導きによって私は日本の救世軍へと繋がれました。東久留米市に住んでいた母の世話をしながら、共に清瀬小隊で信仰生活を守るようになったのです。母は八十四歳で初めて神様に出会いました。母はイエス・キリストを受け入れ、小隊の皆さんと礼拝を献げ、会食や交わりを楽しんでいました。日曜日には母を連れて清瀬小隊に通いましたが、私はビザの関係で、三カ月毎に日本と韓国を往復する生活を四年間続けました。清瀬小隊では、聖別会のほかに、有志の皆さんと聖書の学びと祈りの時をもち、またクリスマス集会やバザーのための奉仕をすることができました。これらは日本での働きの土台となる、新しい弟子訓練でした。

野小隊では、以前から日本の奉仕の話聞いてくださった藤井健次連隊長夫妻と出会いました。この年の年末には、佐野小隊での社会鍋を終えた後、新築された仙台小隊に移動し、災害対策室の事務所の引越しの手伝いをし、栗飯原順中尉夫妻と戦友と年を越しました。この年末年始の奉仕を通し、神様から与えられている奉仕の場所が、日本の関東東北連隊であることを再確認し、韓国に戻りました。そして三カ月後には再び日本に戻る予定でしたが、COVID-19のために願いが叶えられずに二年が過ぎてしまいました。しかし、このような私に神様の恵み深い導きがありました。二〇二二年二月、私は日本の救世軍の軍国特務曹長となり、七月一日付で、桐生小隊で働くようにと命じられました。神様に認められたような気がして嬉しかったです。ついに公に献身することになりました。また小隊で暮らすこともできるようになります。私の願っていたことが、ごくごく叶えられました。すべてを聞いておられる神様の恵みによることに違いありません。感謝するばかりです。

七年前、私のことを信じて清瀬小隊での働きを許してくださったことを感謝していま

野小隊では、以前から日本の奉仕の話聞いてくださった藤井健次連隊長夫妻と出会いました。この年の年末には、佐野小隊での社会鍋を終えた後、新築された仙台小隊に移動し、災害対策室の事務所の引越しの手伝いをし、栗飯原順中尉夫妻と戦友と年を越しました。この年末年始の奉仕を通し、神様から与えられている奉仕の場所が、日本の関東東北連隊であることを再確認し、韓国に戻りました。そして三カ月後には再び日本に戻る予定でしたが、COVID-19のために願いが叶えられずに二年が過ぎてしまいました。しかし、このような私に神様の恵み深い導きがありました。二〇二二年二月、私は日本の救世軍の軍国特務曹長となり、七月一日付で、桐生小隊で働くようにと命じられました。神様に認められたような気がして嬉しかったです。ついに公に献身することになりました。また小隊で暮らすこともできるようになります。私の願っていたことが、ごくごく叶えられました。すべてを聞いておられる神様の恵みによることに違いありません。感謝するばかりです。

神学を確立し、よりウエスレアンの教理に近いものへと書いていった」と書いています。

参考資料

ブレングルの著作の他に

★ピーター・ファージング少佐編『心を神へーサムエル・ローガン・ブレングル』(Samuel Logan Brengle 『Heart for God』) 二〇〇九年発行 オーストラリア東部軍国 (ブレングルの著作からの引用による、ブレングルの教えのダイジェスト版)・邦訳未

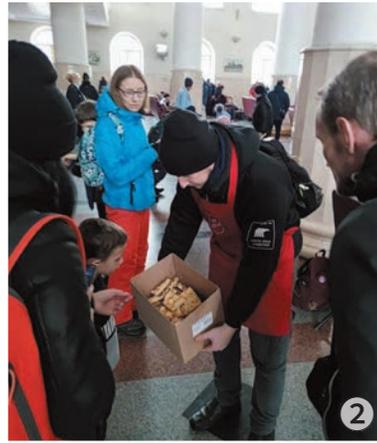
★デビッド・ライトマイヤー著『聖められた聖徒ーサムエル・ローガンブレングルの生涯と教え』(『Sanctified Santity』) 二〇〇三年発行 アメリカ・クレスト出版・邦訳未

★「ニー・カーペンター(第三代カーペンター大将の夫人)著『Women of the Flag』万国本営 一九四五年初版 (Salvation Factory アメリカ東部軍国編纂)・邦訳未

※編集部より「ブレングルの生涯と聖潔」は今回で終わります。次回より、丸畑幸夫少佐による「ジョン・ウエスレーの聖潔」を掲載いたします。

す。私のわがままを聞いて佐野小隊への転籍を許し、関東東北連隊での働きの道を開いてくださったことを感謝しています。また軍国特務曹長として公の場で働きができるように、難しい手続きを根気強くおこなってくださいました。本営の方々に感謝申し上げます。イエス・キリストを受け入れてから今日に至るまで、私のそばにはいつも神様が共に

おられ、また寄り添って助けてくださる人がいました。キリスト教は体験の宗教であると言われていますが、私にとってはまさにそのとおりです。神様に愛されている私は幸せ者です。私の唯一の自慢です。感謝感謝です。神様が桐生小隊を用いてどんな御業を見せかけてくださるのを楽しみにしながら、着任の日を待ち望んでおります。ハレルヤ!



3月末時点で、ウクライナの救世軍士官や兵士たちは全員無事であるということですが、ドネツクとハルキウの小隊は地域の危険な状況のため活動を一時停止しています。ウクライナの救世軍では、多くの国内避難民の人々、また、移動が困難で家にとどまっている人々のため、温かい食事の提供、食品セットや衣類、靴、日用品、衛生用品などの配布、士官宅を開放しての宿泊場所の提供などをおこなっています。士官たちは、疲れ悲しんでいる人々の話に耳を傾け、共に祈り、カウンセリングにあたっています。



近隣諸国へ避難した難民は480万人を超えています(4月16日時点)。近隣国の救世軍は、ウクライナとの国境地点での難民支援とともに、各国内の避難所、小隊での支援を続けています。ルーマニアの国境の町シレットにはジョージアやモルドバからの応援チームも加わり、食事や日用品の提供、荷物輸送の手伝いや、ここを経由してさらに他国へ避難する人々のために、通訳や安全な移動手段の手配などもしています。重要な活動として、女性や子どもが多数を占める難民の人々に、人身取引被害の予防パンフレットの配布を連日おこなっています。戦争から逃れ、知らない土地、わからない言葉の中にやって来る弱い立場の人々を狙う人身取引業者がいるのです。「多くのモルドバ人が純粋に彼らを助けたいと手を差し伸べていますが、この状況を利用しようとする人々もいるのです」とモルドバの救世軍人は語っています。救世軍は、ヨーロッパ各国の救世軍の所在地、連絡先を安全な相談先として紹介しています。



「この子ども、この女性、このウクライナの人々のために、ここにいることができうれしく思っています」と、シレットで奉仕しているルーマニアの候補生は語っています。

3月半ばには万国本営の国際緊急支援チームも到着し、より広いヨーロッパ各地の救世軍が連携して、支援を続けています。

支援の最新情報は救世軍ホームページ、ツイッターを参照してください。



- ① ウクライナ・リビウの小隊で祈禱会
- ②③④ウクライナ・ドニプロの救世軍で。東部の激戦地に近いここには避難民があふれている。小隊で温かい食事をつくり、車で配っている。
- ⑤⑥モルドバの救世軍では避難者の受け入れセンターを設置。また小隊でも宿泊、食品、日用品の提供をし、子どもたちへおもちゃや学用品、本などを贈っている。
- ⑦ 国際緊急支援チームの調整により、ドイツからポーランド経由でウクライナまで支援物資が届けられた。



### 緊急支援レポート

## ウクライナのための祈り ウクライナと周辺諸国の救世軍の支援活動

2022年2月24日にロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まって以来、多くの人々がそれまでの生活を突然奪われ、命の危険を感じる困難の中に置かれています。住み慣れた場所を追われ、避難を余儀なくされる人々も日々増大しています。

このような中、ウクライナ国内で、また近隣諸国、さらに広いヨーロッパ地域において、救世軍はさまざまな形での支援を続けています。東ヨーロッパ軍国の今年のテーマは「信仰と勇気」であるということです。司令官ペティブリッジ大佐は、「世界中からの祈りと温かい支援に圧倒されるほどです。心から感謝しています。私たちの士官や兵士は、戦争の真<sup>ただなか</sup>中でさえ、『信仰と勇気』を実践しています。サイレンが鳴ると避難し、それがおさまると、具体的な、また霊的な支援のために再び出かけていくのです」と述べ、現地で生きる人々を知って祈り続けてほしい、と述べています。



①ルーマニア・シレトの難民キャンプで

②ルーマニアの首都ブカレストの大型展示施設「ロムエキスポ」は2,000人の難民が宿泊できるようになっている。ここで救世軍は食糧と医薬品が買える引換券、衣類、靴、子どもの遊び場などを提供している。

ウクライナの救世軍は1993年より活動を開始。現在9カ所に小隊があり、モルドバ、ジョージア、ルーマニア、ブルガリアと共に東ヨーロッパ軍国を形成しています。

東ヨーロッパ軍国：士官91（現役78、引退13）、候補生15、小隊35、分隊3、兵士1236、同友者844、ジュニア・ソルジャー291

ロシアは、歴史的には1910年から救世軍が活動しており、旧ソ連時代の休止を経て1991年に活動を再開、2015年にロシア・コマンドとなりました。士官25（現役17、引退8）、候補生3、小隊15、兵士246、同友者151、ジュニア・ソルジャー29

## NEWS!! NEWS!!

### 各地のニュース!!

しての学びと訓練を修了しました。2年候補生として進級し、司令官に代わり書記長官西村保大佐補から、2年候補生のバッジを受けました。これまでの学びを土台とし、さらに成長することができるようにお祈りください。救世軍公式YouTubeで、吉田候補生の「1年の訓練の歩みと進級発表」の動画を視聴できます。

### ●新年度の士官学校ニュース

前任の校長のゲイル・ホワイト少佐がイギリス軍国に転任された後、新しい校長が任命されるまでの間、書記長官、人事・教育部長が代行し、山谷昌子少佐と中島美和大尉を士官学校教官に迎えて新年度をスタートしま

## 士官学校

### ●士官候補生進級発表

3月20日（日）、『聖潔を映し出す者』の学年吉田慎也候補生は、神の恵みのもと、1年候補生と



書記長官から2年候補生のバッジを受けた

した。2年生に進級した吉田候補生は、気持ちも新たに学びと訓練に取り組んでいます。

学課や講演、募金や小隊での実習訓練のかたわら、候補生はラッパの練習に熱心に取り組む、全く吹けなかった状態から今ではきれいな音色で演奏しています。士官学校を覚えてお祈りください。



# 集会 報告

## ユースセミナー2022

3月11日(金)、12日(土) Zoom、青少年部 YouTube ライブ配信

テーマ：「WTK!!! ~ What the Kazoku!!! 神様が導く恋愛・結婚・家族~」

特別講師に大嶋重徳師(鳩ヶ谷福音自由キリスト教会主任牧師、元KKG総主事)と裕香師夫妻を迎え開催しました。Zoomセッション、YouTube配信に分けたプログラムでおこないました。

Zoomでは、セッション①11日(金)午後8時「クリスチャンの恋愛・結婚」(参加者24人)、セッション②12日(土)午前10時「女性から見たクリスチャンの結婚」(30人)、セッション③午後1時「男性から見たクリスチャンの結婚」(28人)をおこないました。12日(土)午後3時30分からはYouTubeライブ配信で「閉会集会」(視聴者25人)。普段、なかなか話せないテーマを、各セッションで大嶋師夫妻がわかりやすく語っていただきました。各セッション、集会の概要は下記のとおりです。

### セッション①「クリスチャンの恋愛・結婚」

賛美に続いて、大嶋重徳師・裕香師の講演。「神様の光の中に恋愛や性的な感情、欲求を置かなければ、恋愛も結婚も祝福ではなくなる。人は暗闇にそのような感情を置き、愛の祝福を否定しやすい。しかし聖書は愛の祝福を堂々と清いものと言っている。神様はアダムに『徹底的に自分の霊的弱さを見、神様からの助け手が必要と気づく時』を与えられた。相手愛するように神様が整えてくださる。妻を最優先にすることが夫婦の土台である。」

裕香師「独身時代に一人で神様と深い交わりをもち、徹底的に神様に依り頼む信仰を養うことが大事である。結婚すると恵みもあるが、自分が後回しになることが多い。小隊の戦友にも祈ってもらい、先に歩んでいるご夫婦の姿を見て、分かち合い、学ぼう。」重徳師「結婚において『一体になる』とは神の前での法的な関係、誓約で、『結ばれる』とは結婚の継続性、人格的交わりである。今は多くの人と関係をもつ風潮があるが、性欲も神様が造られたもの。真のカッコ良さは、『何人と関係をもったか』ではなく『愛する人、この人のために取っておく』こと。聖書の示す生き方に胸を張ってほしい。弱いわたしたちのために十字架にかかり罪を赦してくださいましたイエス様がいる。自分を赦せなくても、神様は赦し、新しくされる。その新しさの中でやり直す選択をしてほしい。」講演後、質疑応答の時がもたれた。

### セッション②「女性から見たクリスチャンの結婚」

賛美に続いて、大嶋裕香師が講演。「神様が女性を創造されたことが、創世記に記されている。初めに男性が造られ、『人が独りであるのは良くない』と女性が造られた。女性は、男性と共に神様に応答し、男性が神様との交わりを生きることができるよう、神様に助けていただけよう、それを助ける存在として造られた。しかし、蛇の誘惑から、恥が生まれ、男女の関係が壊れた。特に、御言葉に対するエバのあいまいな姿勢、弱さが罪を引き起こす引き金になったと思う。しかしルカ7:36~50の女性のように、イエス様はすべてを献げた信仰を尊ばれた。この女性の回復を見習いたい。罪の性質が多くある中で、イエス様の十字架を体験し



- ① 画面を通じて質疑応答に答える大嶋師夫妻
- ② セッション：大嶋裕香師と司会の朝澤まりこ大尉
- ③ セッション：大嶋重徳師と司会の朝澤義人大尉
- ④ 賛美リードをした花崎さん

よう。結婚も子育ても大変なことも多いが世界が広がる。神様に頼ってこよう。今、恋愛や結婚について自分がどんな状況にあっても、まず神様と出会うことを大事にしよう。」講演後、質疑応答がなされた。

### セッション③「男性から見たクリスチャンの結婚」

賛美の後、大嶋重徳師の講演。「男性は、一言で言うと『不安』を抱えている。様々な不安と戦っている。創世記でアダムは大事な時に『黙り込む』という弱さが明らかになった。アダムは、悔い改めから逃避をした。アダムとエバ夫婦のゆがんだ関係から、兄弟殺しが起こった。アダムは責任転嫁し、一度もエバに謝罪していない。しかし、今日、覚えたいのは、イエス様を信じ、救われたのは、魂だけではなく、この肉体を含めて、弱さすべてをイエス様はわかってくださいているということ。助けられやすい、悔い改めやすい、赦されやすい、そして、女性に従われやすい男性になってこよう。」講演後、質疑応答がなされた。

### 閉会集会

朝澤義人大尉の司会。花崎拳さんが賛美をリードし、大嶋重徳師が出エジプト4:24~26から「家族」をテーマにメッセージを取り次いだ。「モーセは旧約聖書最大の預言者で、リーダーである。神様は、自信のなかったモーセを用いられた。モーセのツィポラとの結婚はある意味、流されて決めたもので、彼は家族に対して、伝える決断をあいまいにしてきたことがこの箇所でも示されている。しかし、神様はそのモーセの思いも、決断も『殺そうとされた』ように、あなたを『殺される』。神様は、従いきれない自分の弱さを殺してください。陶器師は自分の手で作り、壊し、もう一度造り変える。弱い自分を、神様に献げてこよう。」

メッセージ後、「求めて」を賛美し、招きの祈りがなされた。「いのちの光」を賛美してすべてのプログラムを終了した。

# 集会 報告

## 「SAパームレジデンス」竣工式

3月18日(金) 午前11時 SAパームレジデンス

旧士官学校跡地に建築を進めていたマンション「SAパームレジデンス」が無事に竣工し、3月18日(金)に竣工式がおこなわれました。鉄筋コンクリート造6階建て+3階建て、総住戸42戸で、廣瀬不動産株式会社と共同所有する建物です。

竣工式は書記長官西村保大佐補の司式で進められ、財務管理部長寺澤勇少佐の開会祈祷に続き、テープカットがおこなわれました。書記長官が式辞を述べ、廣瀬不動産株式会社 代表取締役社長 廣瀬慶太郎様と生和コーポレーション株式会社 本店第一営業部部长 下村宜史様に感謝状を贈呈しました。最後に廣瀬慶太郎様より謝辞をいただきました。

式の始まる前にエントランス前を通りかかった方が、「ここは救世軍のマンションですか？ 救世軍が管理するなら安心だ。良かった良かった」と語られた言葉が

印象的でした。マンション事業も、神様から救世軍に託された土地を大切に使い、地域住人の豊かな暮らしのために救世軍が成せる地域奉仕の業の一つであると示されました。このマンションが神様の御業のため用いられるよう、どうぞお祈りください。

(財産部報)



## NEWS!! NEWS!!

### 各地のニュース!!

## 清瀬病院

### ●創立83周年記念集会

3月1日(火)、清瀬病院は創立83周年を迎えました。当日午後、書記長官西村保大佐補と軍国女性部書記西村和江少佐を迎え、チャペルでの集会とオンライン配信によるハイブリッド形式で記念集会をおこないました。席上、5人の職員の永年勤続表彰をおこない、書記長官から賞状をお渡ししました。中には勤続50年の職員がおり、長きにわたる働きに対して特別な感謝を伝えました。



(写真左から) 引地事務長、竹内看護部長、稲葉院長、永年勤続表彰を受けた職員の方々、軍国女性部書記、書記長官

## 社会福祉部・医療部・本営

### ●合同入職式

4月1日(金) 午前9時30分より、杉並小隊別館(アネックス)を会場に、Zoomでの配信と併せて実施しました。各地の社会福祉施設、病院、本営に2022年度、また2021年度中に新たに入職した職員が出席しました。最初に司令官スティーブン・モーリス大佐が礼拝の時を導き、続いて吉田真中将より講演「救世軍医療事業及び社会事業の理念について」がなされ、休憩をはさんで、「日本と世界の救世軍の働きについて」理事長・社会福祉部長石川一由紀少佐よりレクチャーがありました。新年度を迎え、救世軍の理念を新たにし、入職された方々が守られ強められて良き働きが進められるよう、祈る時ともなりました。(参加者77人、うち会場出席35人、スタッフ12人)

### ●旧大牟田小隊会館の活用

この度、救世軍では旧大牟田小隊会館(福岡県大牟田市)を活用するために隣接地を購入し、会館と合わせて「九州キリスト災害支援センター(九キ災)」の活動に貸し出すことになりました。九キ災は2016年4月14日に発生した熊本地震に際して地元のキリスト教会が協力して発足し、震源地となった益城町に「九キ災 熊本ベース」を設置して、被災者支援、仮設住宅の自治会支援、コミュニティ支援の活動を続けてきました。救世軍も九キ災と連携して被災者支援をおこないました。

益城町の熊本ベースは2022年4月末をもって閉所し、活動の拠点を旧大牟田小隊会館に移すこととなります。九キ災の活動のため、この会館がよく用いられるよう、お祈りください。

# NEWS!! NEWS!!

## 各地のニュース!!

### 高知小隊

#### ●野外礼拝&さくらお茶会

3月27日(日)、心待ちにしていた桜の開花が高知市内に

も始まった聖日の午後、咲き並ぶ桜道に面する近藤章子姉宅のガーデンスペース(小隊近隣の「中万々つつじヶ丘地区」にある)に一同集い、野外礼拝を守りました。創造主なる主への感謝を「桜」にまつわる思いにのせて、全員が証しました。

加茂あづさ大尉は「千利休さんのおはなし」を通して、「茶室の入り口」が「狭い門から入りなさい(マタイ7・13~14)」の御言葉に基づいていることを紙芝居にしてメッセージし、神様の前にへりくだる信仰を新たにしました。

聖別会終了後、桜の木の下で「さく



らお茶会」を楽しみ、しばらくぶりに出席された戦友のご家族もあり、共に喜びを分かち合いました。

この日は雲ひとつない晴天が与えられ、聖霊の風に包まれ、身体、心、魂に豊かな潤いを得る聖日となりました。ハレルヤ!



「コロナ感染防止対策」としても定期的に野外にて礼拝を守っている

### 京都小隊

#### ●掲示板のデザイン更新

京都小隊は、繁華街である四条通りから4、5軒下がった(南)場所にあります。小隊前の富小路通りを歩く方々へアピールするため、季節ごとに掲示板のデザインを変えています。中井義治兵士がその奉仕を担っています。毎回趣向を凝らした内容で、老若男女どの世代にも受け入れられ、掲示板の前で立ち止まって、ゆっくり見ていく方もいます。また、あるデザインでは、クイズを出し、その答えがわかった人はオープンデー(火曜日)に中に入って係に答えを言うとミニプレゼントがもらえる、としたところ、実際にオープンデーに来られた女性2人が正解し、プレゼントをお渡ししました。



### YP (青少年部)

## ファミリーニュース

### 仙台小隊

#### ●進級のお祝い

4月3日(日)聖別会の中で、子どもたちの進級を祝う時をもちました。出席していた3人の子どもたちの小学校入学、幼稚園入園、保育園進級を皆でお祝いしました。また、仙台小隊に連なる子どもたちを覚え、祝福の祈りをしました。



#### ●福原タカヨシ アフタヌーンコンサート

4月2日(土)、クリスチャンの音響会社MAGの主催、京都小隊の協力で開催されました。会場は満席で、アコースティックギターの響きと福原タカヨシさんの美しく力強い歌声に皆さんが聴き入り、素晴らしいコンサートでした。コロナ感染予防対策をとり、当初予定していたティータイムの代わりにおこなったトークタイムでは、福原さんが卒業された同志社大学で歌われている「同志社カレッジソング」の作詞者が、ウィリアム・メレル・ヴォーリズ(京都小隊会館を設計した建築家)であったと伝えられ、不思議なつながりを感じました。

コンサートの後はCDや、ネパールのバディ族を貧困と人身取引の危険から守るために雇用創出の手段として設立された「バディカフェ」の焼菓子の販売があり、多くの方が支援をしました。(参加者34人)

※バディカフェホームページ <https://www.badicafe.com/blog>



## 人身取引対策室

### ● オンライン研修会報告

救世軍万国本営では、現代奴隷制及び人身取引対策として、「Safe Migration & Against Human Trafficking 安全な移民と反人身取引」というテーマで、アングリカン・アライアンス（聖公会）やカトリックとも連携をとって研修や情報共有をおこなっています。2月の毎週金曜日には、日本時間午後3時から東アジア地域でオンライン研修会がおこなわれました。日本軍国からは、泉尾小隊士官 本村大輔大尉、京都小隊士官 粟飯原順中尉、粟飯原由美子中尉、大森小隊 大平伊佐子兵士、人身取引対策室 寺澤眞由子少佐が参加しました。

人身取引対策の枠組みにそって研修が進められ、人身取引対策支援の現場として、救世軍のフィリピン軍国の取り組みが毎回動画で紹介されました。また、他の支援団体による具体的な支援姿勢を学びました。東アジアに位置する各国からの参加者とのグループディスカッションが毎回あり、それぞれの国の状況を紹介しつつ学びと交流を深める機会となりました。

大平兵士は、「この4回のセッションを通して、日本の子ども、若い人たちが孤独を感じながら、つながりをもたなくてSNSで人身取引の被害を受けていることを伝えました。私たちにできることは、その子どもたちを受け入れ、話を聞き、責めることなく、安心して打ち明けられる居場所としての教会、小隊となることだと思いました」と振り返りました。

本村大尉は以下のとおり感想を記しました。「今回受講し、昨春にいただいた『現代奴隷制及び人身取引についての見解表明』の内容理解が深まりました。潜在的に傷つきやすい立場にある人の存在と脆弱性、被害者及びサバイバー（人身取引など過酷な状況生き延びた人）の心的外傷と、それに対するケアや関わり方、キリスト教会としての支



援と伝道との関係性、自立支援や個人の回復力など、自分が今までに携わり、また講習会などで学んできた災害支援や災害対応チャプレン、また Faith-Based Facilitation（FBF—信仰に基づいた活性化、促進）と多く共通するものを感じました。その意味で、全

体の根底にある支援者としての概念は理解、受容しやすかったです。また、現代社会において、人身取引や搾取の問題があることは悲劇的なことですが、救世軍をはじめ、キリスト教会がその問題に正面から取り組んで、事態の改善や解決のため、被害者の救出と回復支援のため、社会への啓発や問題の根絶のために闘い続けていることは、励まされる思いでした。日頃、様々な難しさを感じる働きの中で、今回改めて救世軍の可能性やキリスト教会に託され、期待されている働きがあることを実感しましたし、他の参加者やファシリテーターから、日本のキリスト教会の現状や働きに共感し、また励ましてくださる声もいただき、心動かされました。日本国内においても現実の問題として関心をもち続け、他教会や他団体とも協働しながら少しずつでも取り組んでいく私、私たちがでありたいと思います。かつて国内でも地方から都市部への移住者、出稼ぎ型労働者によって高度成長期が支えられ、その中には労働者に対する不当な扱い、差別、搾取、悲哀がありました。昨今、年々拡大される職種において、外国人技能実習生、語学留学生の多くが安価な労働力として斡旋され、低賃金と長時間労働をはじめ様々な権利を奪われていることに心を痛めています。日本人も多く含まれる労働搾取、性的搾取の問題をはじめ、不条理や矛盾だらけの現実の社会の中で、キリスト教会が言葉とおこないを通して福音を証しすること、傷ついた人の隣人になること、その必要性を実感しています。」

引き続き人身取引対策の働きのためにお祈りください。

（人身取引対策室報）

## 連載

### 各地の小隊から 第3回 浜松小隊



小隊士官  
太田晴久少佐  
太田廣美少佐

浜松小隊は1911（明治44）年5月17日に開戦しました。開戦後、



イースターの聖別会に集った戦友方

幾度かの移転、借家を繰り返しながら救われる者が導かれ、会館も与えられて神の国の戦いが進められました。

第二次世界大戦によって浜松小隊は「西遠教会」と名付けられ、有力な下士官が召天、戦禍によって小隊は消失し苦難の時を迎えました。

戦後1956（昭和31）年に再開戦し、士官や戦友の地道な働きで会館も与えられ、多くの信仰の実を結びました。秋元巳太郎中佐、河合光治大佐、勝地次郎中將、加藤和子准尉が献身に導かれました。私たち夫婦も浜松小隊出身です。かつては救霊の盛んな時期もありましたが、

今日は困難を覚える時を迎えています。小隊開戦111年目を迎えました。紆余曲折の歩みの中で今日あるのは、小隊を守り信仰の戦いをされた先達者の献身の賜物です。これからも世の光、地の塩として、この世に神の光を照らしていきたいと願っております。



## 社会鍋による支援

### 天満小隊

#### ●高校生への食糧支援

2021年12月20日(月)、大阪市内の通信制課程、単位制の高校にて、ひとり親世帯、非課税世帯(海外のご両親家庭も含む)の高校生を対象にクリスマスギフト企画として食糧支援をおこないました。事前に高校の先生にご協力いただき、学内メールで食糧支援の案内をしていただきました。当日、学校の一室をお借りして、11人の高校生や保護者の方に食料品(米、パスタ、レトルト食品など)を手渡すことができました。当日受け取りに来られなかった方には、後日、先生方が手渡してください、合計28世帯にお届けすることができました。

食料品を詰めたエコバッグも好評でした。高校の先生方の温かいご協力により、高校生たちに食料を届けることができ、心から感謝しています。

食料品を詰めたエコバッグも好評でした。高校の先生方の温かいご協力により、高校生たちに食料を届けることができ、心から感謝しています。



## 呉小隊・呉保育所

#### ●作業所への社会鍋支援

3月1日(火)に「安浦やすらぎ作業所」へ社会鍋支援品をお届けに行きました。呉保育所の子どもたちが一生懸命お手伝いしてくれた社会鍋の募金で、フードプロセッサ3台を寄贈しました。子どもたちは一緒に行きませんでしたでしたが、支援品の包装や、作業所の方への手作りメダルを用意してくれました。

社会鍋を通して、助け合う心、神様がすべての人を大切に思っていることを知ってもらいたいと願っています。



7月3日(日)~17日(日)  
こども伝道週間

7月、8月 夏期聖書学校、  
キャンプなど(各連隊・小隊)

## 京都小隊

#### ●早朝見回りと食品・日用品配布

京都小隊では、昨年12月の社会鍋募金で多くのご協力をいただきました。2022年の元旦より、週に2、3回早朝に路上生活を余儀なくされている方の見回りを始めています。1月には延べ25人、2月に21人、3月に8人の方に食べ物や日用品を提供することができました。今後も継続いたします。

下京区の斡旋する簡易宿泊所もありますが、さまざまな事情により路上生



活を選択する方もおられるので、特に寒い冬場は見回り声かけをしました。

#### ●フードパントリーへの支援品提供

1月29日(土)には、認定NPO法人「セカンドハーベスト京都」が運営するフードパントリー(食品の個人への直接無償配布)の実施会場の一つである「マスタードシードクリスチャン教会京都」と協力して、社会鍋資金で購入した使い捨てマスク、カイロを京都小隊から提供させていただきました。

写真左より 元旦に見回りへ出発、食品と日用品セット  
右写真 フードパントリー実施会場の教会で



## 〈連載・第15回〉

## 神の呼びかけ ～神の民となるために～

## (5) キリストの臨在を祝うことへの呼びかけ

(承前) 質問

- 1.わたしたちの集会や会食の中にキリストが真に臨在されることを認識するためには、何が必要ですか。
- 2.神の恵みはすべての人に対して、あらゆる時あらゆる場所において、即座にそして自由に提供されているという真理を、わたしたちの礼拝はどのように表しているでしょうか。
- 3.「キリストがわたしの内におられる」という真理を、わたしたちはどれほどよく理解し、また実践しているでしょうか。
- 4.キリストにある共同体としての命を豊かにするために、どのように食事の交わりの時をもつことができるでしょうか。

参考になる聖書箇所

マタイ 26・26～30、ルカ 24・30～32、コロサイ 2・6～10 および 3・15～17、テトス 3・4～7

## 交わりの食事 (Fellowship Meals)

それが家庭内のものでも、会合としてのものでも、すべての食事の機会が神聖な時であり得ることを認識した上で、共同体の霊的生活を豊かにするために、交わりの食事を計画的に用いることができます。以下のような機会を捉えることができます。

- \*イースターと、その前の備えの期間
- \*新しい活動、あるいは霊的なキャンペーンを開始する際
- \*周年行事や、おおみそか大晦日の除夜会、献堂式といった、小隊における祝賀の時
- \*兵士会において
- \*牧会ケア会議や小隊会議、特に重要な決断を下す局面において
- \*募金を開始する際に、重要な働きがキリストの名のもとにおこなわれていることを強調するため
- \*感謝祭を覚えて
- \*集会と集会の間に食事の必要があり、会衆が帰宅して食事をするには距離がありすぎる場合
- \*人間関係に亀裂が生じ、十字架によるキリストの偉大な和解の業を振り返ることで癒しが必要とされる時
- \*そのような形で集まることが、小隊や施設における交わりと霊的な営みの成長につながると考えられる時
- \*スモールグループの集まりや週日に家で集まるグループにおいて、あるいは准兵士の学びの終了時
- \*小隊のキャンプや、交わりのために計画する週末のイベントやリトリートなどにおいて

## (6) 兵士となることへの呼びかけ

わたしたちは世界中の救世軍人に呼びかけます。兵士の入隊とは、キリストが弟子をつくるようにと命じられたことを公に証しするものであり、また兵士であることは徹底的に服従し続けることを求められます。

イエス・キリストは今も、すべての人が自分の十字架を負ってイエスに従うよう招いておられます。このように心から絶対的にキリストを主として受け入れることは、弟子としての犠牲を伴います。弟子をつくり、父、子、聖霊の御名において洗礼を授けるよう命じておられる主の声が聞こえます。兵士となることは弟子となることであり、救世軍の三位一体の軍旗のもとに救世軍の兵士として公に入隊することは、この命令を果たすことであると信じます。すでに経験した、人生を変えたキリストとの出会いを公に証しするものであり、他のキリスト信者が水で洗礼を受けることと同じです。

まず、再び思い出してみましょう。信仰を公に告白すること、わたしたちがこの地上でキリストの教会の一員となったことを認めることに関わる様々な事柄を。公の証言とは、人生を変えたキリストとの出会いについてであり、その出会いはすでに経験されたものです。救世軍の兵士入隊式、あるいは水での洗礼式、または同様のメソジスト教会の儀式にしる他の宗派にしる、いずれもすでに起こったことへの応答なのです。儀式自体は回心の経験となりません。また回心に代わるものとして決定づけられていません。儀式は、すでに本人が関わっていることを体現するために計画されてきたものです。

確かなことは言えませんが、初期の教会では、新しい回心者かどうかにかかわらず、たいていは救われるとすぐに(水で)洗礼を受けていたようです。度々そうしていたようです。また、使徒パウロは自らの伝道においては洗礼を重要視していませんでした(コリントー 1・17)。イエスも同様でした(ヨハネ 4・2)。

しかし、長い年月の間に、教会員となる儀式、つまりキリストの体の一員として受け入れるための場を設けるようになり、その様式は多様になりました。ほとんどの教会では、新しいクリスチャンの経験と意思の正当性を確認するための準備がおこなわれています。

『救世軍の儀式』によると、以下のような人のみが兵士として受け入れられる、とされています。

- a) キリストを信じる信仰による救いを告白しており、キリストを救い主と認めている。
- b) 教理や主義、また「兵士の誓約」に表されている救世軍の福音的な証し、さらに『選ばれて兵士となる』(救世軍軍令及び軍律 兵士の巻)及び『救世軍教理ハンドブック』で説明されている事柄を十分に学んでいる。

(続く)

## 救世軍見解表明

### 社会道德に対する救世軍の立場 第7回「平和の構築」(1)

#### 平和の構築についての見解 表明

神が考えておられるのは、すべての人が他の人との関係において、正しく、持続可能で、豊かな生き方へと導く、平和を経験することである、と救世軍は信じています。暴力的な紛争による衝突の原因は、複雑であり、多面的です。救世軍は、宗教心には暴力はつきものだ、と言う人々には同意しません。イエスは平和の福音を宣言されました。この世にトラブルはつきものであることを承知の上で、イエスはトラブルに満ちた世界で人が平和の構築のために尽くすことは、神によって祝福されると言われたのです。

救世軍は、戦争や平和に関すること、社会的秩序を維持すること、政府や個人が困難な選択に直面することなどには、道徳的な複雑さがつきものであることを認めます。救世軍は平和構築のために専心します。救世軍は、関わりのあるすべての人々、特に救世軍人たちに、平和のために祈り、誠実に平和を追い求め、平和を造り出す人となれるように努めるよう呼びかけます。救世軍は、軍隊や政治の責任をもつ人々であっても、平和と正義を自分たちのゴールとすることができると考えます。

救世軍は、平和を追い求め、それを維持するには、社会一般の努力が必要であると考えます。救世軍は常に社会正義を擁護します。救世軍は、家族、教会、社会において平和と正義が織り込まれた文化を築き上げるようにと励みます。救世軍は、国際的な平和構築の働きを支援し、同じ目的をもつ人々と協力します。

#### 見解表明の背景と状況

暴力は、人との関係、組織、自治体、国家、国と国の関係のレベルで、世界中にはびこっています。暴力が宗教と結びつくことはありますが、救世軍は、宗教心には暴力がつきものだという人々に同意することはできません。救世軍は、そうではなくて、暴力的な紛争の原因は常に複雑であり、多面的であることを認めます。平和が脅かされるのは次のような時です。力をもたない人々の声が聞き入れられず、軽蔑される時。公共の利益を決定するときに彼らが無視される時。正当に扱われず、被害を被ったときに謝罪を受けない時。

歴史を見ると、正当な戦争や平和主義の理論も含めて、クリスチャンの考え方は暴力と戦争について数々の提案をしてきました。それらの議論の多くは重要で、これからも学ぶべきものでしょう。しかしながら、いろいろ

理論には相違がありますが、クリスチャンとしての理論として皆が同意することは、正義のある平和を第一にすることです。「正当な平和構築」これは平和主義者たちも受け止めるものであり、戦争をするには、時には、十分な理由があると思う人々も受け止めることができるものです。そして、正当な平和構築ということは、政府の意思決定力をもたない、教会やその他の団体によって育てることができるのです。

正当な平和構築ということの前提になるのは、正当に扱われること、個人、その人の家族、その共同体が正当な取り扱いを受けることが暴力的な紛争を防ぐということです。強い憎しみのあったところに（赦しが差し出され、それが受け取られることを含めて）、真実と正義に基づいた和解があること、それが持続可能な平和に貢献するので

正当な平和構築は、ユートピア（理想郷）なのではありません。その実践は経験に基づいており、それを提案する人々は、その必要性を認め、十分な証拠があるとして、そのことを極めようとし、大切なのは実際に使えるかどうかであり、理論的に正しいかどうかではありません。正当な平和構築ということに効果があるかどうかは、勇気と希望をもち、恵みを体現する共同体によって明らかにされるのです。

正当な平和構築についての経験済みの実践には、次のようなものがあります<sup>1</sup>。

1. 非暴力の行動を支援する。
2. 脅威を取り除くために率先して動く。
3. 争いの解決のために協同して働く。
4. 争いと不正についての責任を認め、悔い改めと赦しを求める。
5. 民主主義と人権と宗教の自由を推し進める。
6. 公正で持続可能な経済の発展を促進する。
7. 国際的な組織における協調的な勢力と共に働く。
8. 協調と人権のために働く、国連や国際的な活動を強めるために努める。
9. 攻撃的な武器や武器売買を縮小させる。
10. 平和構築のために働く草の根のグループや任意団体を励ます。

歴史的にも救世軍は、平和構築に関わってきました。力をもって導き、その国際的な組織の信頼性と、戦争やその他の暴力の原因や結果についての広範な知識と、人間の霊的な面を大切にすることを実践してきたのです。救世軍は、紛争に巻き込まれ、傷ついた人々のために、健全な道を探ることを努め、行動し、擁護してきました。

(次号に続く)

(注1) : (Thistlethwaite & Stassen, 2008)  
<http://www.usip.org/files/resources/sr214.pdf>





### 菅井牧子少佐 天に召さる

菅井牧子少佐は、2月4日(金)午後9時、入院先の救世軍ブース記念病院より召天されました。86歳でした。

菅井牧子少佐は、1958年9月、仙台小隊より士官学校『開拓者』の学年へ入校されました。1959年6月に任官され浄心小隊付の任命を受けられました。1960年、岐阜小隊長、1962年には菅井俊吉大尉と結婚。その後、夫君と共に8小隊(長野小隊、浜松小隊、鶴橋小隊、沼津小隊、西新井小隊、横浜小隊、静岡小隊、江東小隊)と世光寮、ブース記念病院での任を担われました。1978年6月28日~7月15日、万国大会(英国)に日本軍国公式代表者として任命され、出席。1999年6月、40年士官永年勤続章を授与されました。2000年2月、現役を引退。引退後も静岡小隊、同年3月からは江東小隊での奉仕を2003年3月まで続けられました。

いつも優しい笑顔で周りの人々に親切に接し、愛と忍耐をもってキリストの香りを与え、良い感化を残されました。

告別式は2022年2月7日(月)、杉並小隊・総合センターにて、東京東海道連隊長 石川和男少佐の司式でおこなわれました。御遺族の皆様の上に神様の御慰めと御祝福をお祈りいたします。



### 第17代大将 ジョン・ラーソン大将 天に召さる

ジョン・ラーソン大将は、2022年3月18日、英国ロンドンのプロムリーのご自宅から召天されました。

大将は、1938年4月2日、士官の息子としてスウェーデンで生まれ、幼少期をスウェーデン、デンマーク、チリ、アルゼンチンで過ごしました。12歳になる頃にはスウェーデン語、デンマーク語、英語、スペイン語が話せるようになっていました。英国アッパー・ノーウッド小隊から万国士官学校に『忠実なる者』の学年候補生として入校。1957年に救世軍士官として任官され、小隊士官として1年間の奉仕後、万国士官学校教官として7年間奉仕。1969年にフリーダ・ターナー大尉と結婚。1974年から、旧スコットランド軍国の軍国青少年部長、英国軍国の副青少年部長、軍国青少年部長を歴任し、1980年から南アメリカ西部軍国の書記長官、その後、1984年からは万国士官学校で4年間校長を務められました。1988年に万国本営へ転任、英国体制企画担当として、英国における救世軍の国際的な機能と軍国としての機能を分離するための調査及び計画という複雑な役割を担われました。この結果として1990年11月に英国軍国及びアイルランド共和国(現在は英国及びアイルランド軍国)が設立され、大将(当時は中将)は、この新しい軍国の初代司令官に任命されました。その後、ニュージーランド及びフィジー軍国、スウェーデン及びラトビア軍国の軍国指導者を務め、1999年、参謀総長に任命されました。その在任中に救世軍の第17代大将として選出され、2002年11月13日から2006年4月2日、この任を務められました。

大将は神の忠実で謙遜な僕として、授かった文筆と音楽の賜物を救世軍全体と共有されました。特に知られているのは、ジョン・ゴワズ大将と共に、10本の長編ミュージカルを作曲・制作されたことです。ジョン・ラーソン大将は音楽を通し、また、その人柄、穏やかで控えめな性格や霊性の深さを通して、世界の救世軍に大きな霊的感化を遺されました。1994年11月に初来日し、東京連隊音楽祭と教会成長セミナーを導き、2005年8月には大将として来日し全国大会を導かれました。著作に、『成長する小隊—救世軍と教会成長—』(日本語版)、『Doctrine without Tears』、『The Man Perfectly Filled with the Spirit』等があります。

葬儀は、4月8日(金)、バツケナム斎場にて執りおこなわれ、「感謝の集い」が同日夜、ウィリアム・ブース記念士官学校にてキース・バンクス中将(引退士官)及びヴァレリー・ミレクレスト少佐(南ロンドン連隊長)の司式でおこなわれました。

## ファンドレイジング

### ●ドネーションイベント

3月29日(火)、ブリティッシュ・スクール・イン東京渋谷キャンパスにて救世軍のためのドネーションイベントがおこなわれました。それぞれのご家庭で使わなくなった衣類、おもちゃや本などを多くの方々から寄付していただき、2台のトラックがいっぱいになりました。

そして、今回は「しもべあの大冒険」のペーくんともりちゃんがスペシャルゲストとして来てくれました！ペーくんを見た子どもたちは大喜びでハイタッチをしたり一緒に写真を撮ったりしていました。救世軍と「しもべあの大冒険」の良いPRの機会ともなりました。ご協力いただいた皆様に心から感謝いたします。

(伝道事業部報)



↑多くの寄贈品が寄せられた  
←ペーくんの登場に子どもたちも大喜び！

## 医療サンデー 6月5日

救世軍の医療の働きと共に全世界の医療従事者のため、祈りましょう。

長引く新型コロナウイルスの脅威の中にある医療従事者を覚えて、神様のお守りとお導きを祈りましょう。

### 救世軍公報

転任(カッコ内は継続任命)

補(兼)希望館統括施設長(兼)災害対策室付

(兼)災害対策室長(臨時)の任を解く

(兼)小隊士官(兼)愛光園施設長補佐

(兼)児童家庭支援センター明日葉センター長(兼)呉地区社会福祉施設

チャプレン(兼)広島地区チーム

ニストリー士官

吉田有大尉

補(兼)災害対策室長(臨時)

(兼)災害対策室東北地区担当の任を解く

(兼)東北連隊長(兼)佐野保育園

チャプレン(兼)佐野こどもクラブ

チャプレン

藤井健次大佐補

二〇二二年四月一日付

スティーブン・モリス

昇任

任大尉

粟飯原順中尉

任大尉

粟飯原由美子中尉

二〇二二年三月二十六日付

スティーブン・モリス

司令官

創立者 ウィリアム・ブリス 大將 ブライアン・ペドル (万国本営 英国ロンドン)

### 連隊青年デー予定

〈関東東北連隊〉ユース・スプリング・デイキャンプ  
 5月3日(火)(1日のみ)  
 ゲスト：司令官 スティーブン・モーリス大佐  
 軍国女性部会長 ウェンディ・モーリス大佐  
 会場：佐野こどもクラブ  
 通訳：山谷真少佐

〈東京東海道連隊〉  
 5月3日(火)～5日(木)  
 ゲスト：霊的生活成長部長 中島美和大尉  
 会場：奥多摩福音の家

〈西日本連隊〉  
 5月11日(水)～12日(木)  
 ゲスト：「ナイト de ライト」ボーカル平野翔一氏  
 青少年部長 朝澤義人大尉  
 会場：天満小隊 大阪セントラルホール  
 11日(水) 希望館訪問  
 12日(木) 19時「ジーザスナイト」(ユース向け伝道集会)  
 青少年部 YouTube チャンネルで生配信！

※すべての各連隊主催青年デー開催前に緊急事態宣言が発令された場合は、青少年部主催のオンライン配信でおこないます

### New Hope 麻布

#### ●フラワーレッスン

月2回火曜日、女性部主催の「New Hope カフェ」を開催していますが、3月29日は特別イベントとして、イースターのフラワーレッスンをおこないました。8人が参加し、9種の花を自然の庭に見立てたかごに飾り、小鳥とイースターエッグもあしらって、春のアレンジメントを楽しみました。



### 軍国特務曹長来日

来日が待たれていた、成演宇軍国特務曹長が韓国から到着しました。隔離期間後のPCR検査を無事クリアし、4月11日(月)に本営を挨拶に訪れて、書記長官西村保大佐補から軍国特務曹長の辞令書を授与されました。成特務曹長は関東東北連隊長 藤井健次大佐補と連隊女性部書記 藤井千明大佐補に伴われて任地の桐生小隊に向かいました。お祈りください。(5ページに証言掲載)



### 日本における女性の働き100周年記念行事

救世軍 女性の働き 1922-2022 JAPAN  
 テーマ「共に歩む～いつも変わらないキリストを中心として～」

6月24日(金) 19:30 交流会 (Zoom)  
 「ポットラックパーティーへようこそ」

6月25日(土) 10:30 女性の働き100周年記念集会

メッセージ：軍国女性部会長 ウェンディ・モーリス大佐  
 (杉並小隊・総合センターを会場に、会場参加とZoomによる参加を併用するハイブリッド形式)

6月25日(土) 13:30 講演会と分かち合い  
 「共に歩む～いのちの現場から～」

講師：永原郁子氏 [マナ助産院 院長]  
 (ハイブリッド形式での講演会)

※各集会の参加方法については女性部からの案内をご覧ください

### 救世軍創立157年記念コンサート & 士官候補生夏期訓練任命集会 (オンライン)

6月12日(日)

第6回救世軍社会鍋俳句コンテスト  
 受賞作発表もあります

救世軍 YouTube にて配信  
<https://bit.ly/SArmyTube>

日本司令官 スティーブ・モーリス (救世軍本営 東京都千代田区) <https://www.salvationarmy.or.jp>

印刷所	救世軍本営	株式会社ヒーランドエス
電話	東京(03)三三七〇八八一	神田神保町二ノ十七
〒101-0051	東京都千代田区	
編集人	山谷 真	
印刷人	代表者スティーブ・モーリス	
発行兼 救世軍		
発行日	毎月一日発行	
▼定価	福喜版・一部 四〇〇円	
クリスマス特集号 (十二月一日発行)	一部 一〇〇円	
振替	〇〇一八〇一五 四四〇〇	
(取扱支部)		